



HRD共同調査とは、HIV感染症治療薬の  
市販後における使用実態、安全性に関する調査です。

## HIV 感染症治療薬共同使用成績調査 16 年次報告書 追補版

(調査開始 ～ 2013 年 3 月)

先生方へ

HIV 感染症治療薬(抗 HIV 薬及び HIV 関連疾患治療薬)共同使用成績調査(以下、本調査)へご協力頂きありがとうございました。

本調査にて収集された当該薬剤の使用実態、有効性及び安全性についての情報を医療の現場にフィードバックするため、1997 年調査開始時より年度毎に調査結果の概要を別途、冊子としてまとめてきておりますが、今回、直近の調査期間である 16 年次(2012 年 4 月 1 日～2013 年 3 月 31 日)における使用実態のデータを加え、本調査結果の概要について、簡潔にまとめた追補版の小冊子を作成いたしました。本小冊子が診療のご参考になれば幸いと考えております。

なお、本小冊子は、HIV 診療に携わる専門医の先生方のご意見を参考に作成致しました。

2013 年 11 月

HRD共同調査協議会

ヴィーブヘルスケア株式会社

MSD株式会社

グラクソ・スミスクライン株式会社

田辺三菱製薬株式会社

日本たばこ産業株式会社

ファイザー株式会社

ブリistol・マイヤーズ株式会社

ヤンセンファーマ株式会社

シミック PMS 株式会社(CRO: 調査受託会社)



# HIV 感染症治療薬共同使用成績調査

## 16 年次報告書 追補版

(調査開始 ～ 2013 年 3 月)

## 目次

調査対象薬剤	1
調査対象全症例における治療開始後の CD4 数及び HIV-RNA コピー数の推移	3
・ 治療開始後の CD4 数の推移	
・ 治療開始後の HIV-RNA コピー数の推移	
調査対象全症例における治療開始後の CD4 数及び HIV-RNA コピー数の推移	4
・ 治療開始後の CD4 増加数の推移	
調査対象全症例における生存率	5
・ HRD 共同調査生存率	
全症例のカプランマイヤー法による生存率	
調査対象全症例における生存率	6
・ HRD 共同調査生存率	
カプランマイヤー法による生存率(2001 年 3 月 31 日以前に治療開始した症例)	
・ HRD 共同調査生存率	
カプランマイヤー法による生存率(2001 年 4 月 1 日以降に治療開始した症例)	
調査対象全症例における治療開始時の CD4 数別生存率(全死亡)	7
・ HRD 共同調査生存率	
治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率	
調査対象全症例における治療開始時の CD4 数別生存率(全死亡)	8
・ HRD 共同調査生存率(2001 年 3 月 31 日以前に治療開始した症例)	
治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率	
・ HRD 共同調査生存率(2001 年 4 月 1 日以降に治療開始した症例)	
治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率	
調査対象全症例における治療開始時の CD4 数別生存率(AIDS 指標疾患の死亡による)	9
・ HRD 共同調査生存率	
治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率	
調査対象全症例における治療開始時の CD4 数別生存率(AIDS 指標疾患の死亡による)	10
・ HRD 共同調査生存率(2001 年 3 月 31 日以前に治療開始した症例)	
治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率	
・ HRD 共同調査生存率(2001 年 4 月 1 日以降に治療開始した症例)	
治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率	

調査対象全症例における治療開始時の年齢別生存率・・・・・・・・・・11

- ・ HRD 共同調査生存率  
治療開始時年齢で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率

調査対象全症例における治療開始時の年齢別生存率・・・・・・・・・・12

- ・ HRD 共同調査生存率(2001年3月31日以前に治療開始した症例)  
治療開始時年齢で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
- ・ HRD 共同調査生存率(2001年4月1日以降に治療開始した症例)  
治療開始時年齢で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率

調査対象全症例における治療経験有無別の治療開始時の CD4 数及び HIV-RNA コピー数・・・13

- ・ 治療経験が無い患者(naïve 患者)への治療開始時の CD4 数
- ・ 併用療法薬剤変更時の CD4 数
- ・ 治療経験が無い患者(naïve 患者)への治療開始時の HIV-RNA コピー数
- ・ 併用療法薬剤変更時の HIV-RNA コピー数の推移

2010 年度から 2012 年度に使用された併用療法の種類(薬剤組合せ)・・・・・・・・14

## 調査対象薬剤

### HIV 感染症治療薬の共同使用成績調査に合意している会社薬剤

#### (2013 年 3 月現在再審査期間中の市販薬剤)

商品名	薬剤名(略号)	再審査期間
カレトラ配合錠	ロピナビル(LPV)・リトナビル(RTV)	2011 年 4 月 ~ 2013 年 3 月 <sup>※1</sup>
レイアツツカプセル 150mg,200mg	アタナビル硫酸塩(ATV)	2003 年 12 月 ~ 2013 年 12 月
ビリアード錠 300mg	テノホビル シソプロキシルフマル酸塩(TDF)	2004 年 3 月 ~ 2014 年 3 月
ハルキサ錠 450mg	ハルガンシクロビル塩酸塩	2004 年 11 月 ~ 2014 年 11 月
レクシヴァ錠 700	ホスアンプレナビルカルシウム水和物(fAPV)	2004 年 12 月 ~ 2014 年 12 月
エムトリバカプセル 200mg	エムトリシタビン(FTC)	2005 年 3 月 ~ 2015 年 3 月
ツルバダ配合錠	エムトリシタビン・テノホビル シソプロキシル フマル酸塩(FTC/TDF)	2005 年 3 月 ~ 2015 年 3 月
プリジスタ錠 300mg	ダルナビル(DRV)	2007 年 11 月 ~ 2017 年 11 月
プリジスタナイーブ錠 400mg	ダルナビル(DRV)	2009 年 8 月 ~ 2017 年 11 月
アイセントレス錠 400mg	ラルテグラビル(RAL)	2008 年 6 月 ~ 2018 年 6 月
ミコフテインカプセル 150mg	リファブチン	2008 年 7 月 ~ 2018 年 7 月
インテレンス錠 100mg	エトラビリン(ETR)	2008 年 12 月 ~ 2018 年 12 月
シーエルセントリ錠 150mg	マラビロク(MVC)	2008 年 12 月 ~ 2018 年 12 月
サムチレル内用懸濁液 15%	アトバコン	2012 年 1 月 ~ 2020 年 1 月
エシユラント錠 25mg	リルピビリン (RPV)	2012 年 5 月 ~ 2022 年 5 月
スタビルド配合錠	エルビテグラビル/コビスタット/エムトリシタビン /テノホビル シソプロキシルフマル酸塩 (EVG/COBI/FTC/TDF)	2013 年 3 月 ~ 2023 年 3 月

※1:カレトラ配合錠の用法追加(1日1回)は再審査対象ではないため調査期間を示しております。

(参考:2013年3月現在再審査期間が終了している薬剤)

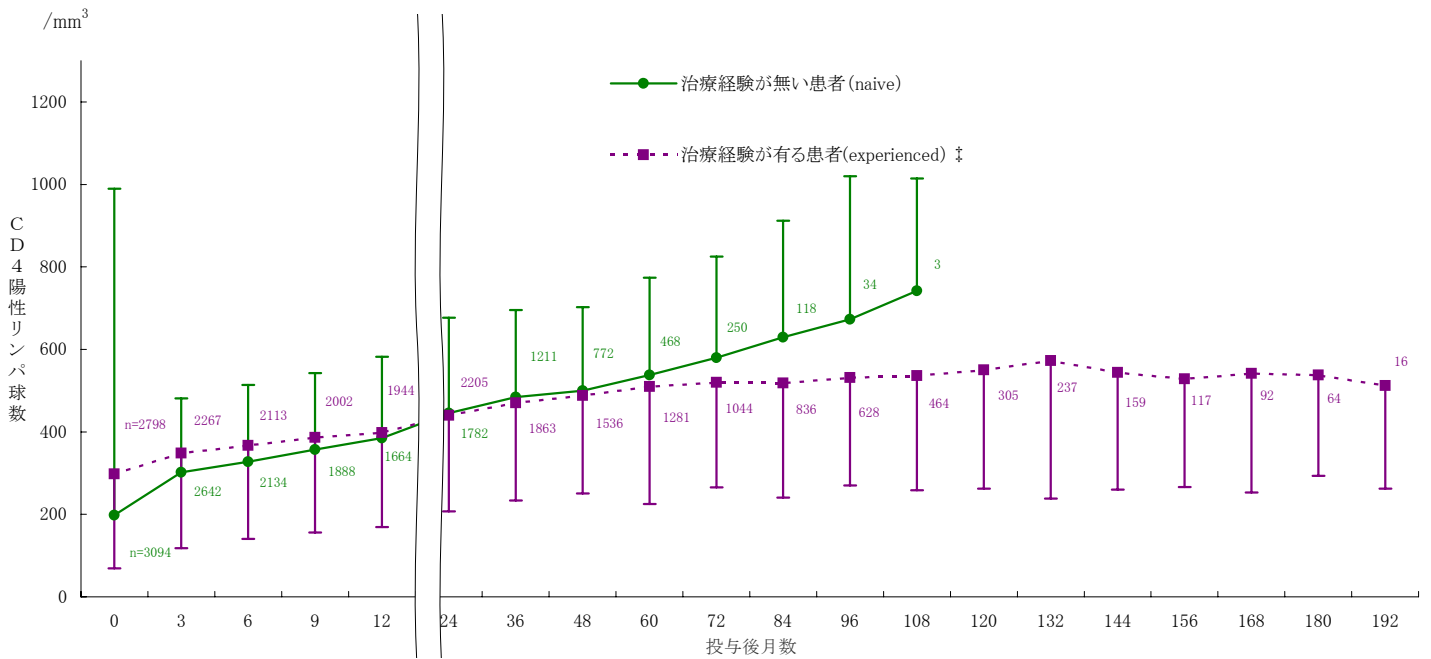
商品名	薬剤名(略号)	再審査期間
エピビル錠 150,300	ラミブジン(3TC)	1997年2月～2007年2月
コンビビル配合錠	ジドブジン(AZT)・ラミブジン(3TC)	1999年6月～2007年2月
クリキバンカプセル	インゾナビル硫酸塩(IDV)	1997年3月～2007年3月
点滴静注用ホスカビル	ホスカルネットナトリウム水和物	1997年3月～2007年3月
ゼリットカプセル	サニルブジン(d4T)	1997年7月～2007年7月
デノシンカプセル※2	ガンシクロビル	1997年7月～2007年7月
インビラーゼカプセル	サキナビルメシル酸塩(SQV-HGC)	1997年9月～2007年9月
ノービア内用液・ソフトカプセル※2	リトナビル(RTV)	1997年11月～2007年11月
ビラセプト錠 250mg	ネルフィナビルメシル酸塩(NFV)	1998年3月～2008年3月
クラリス錠・ドライシロップ	クラリスロマイシン(CAM)	1998年9月～2008年9月
クラリット錠・ドライシロップ	クラリスロマイシン(CAM)	1998年9月～2008年9月
ビラミューン錠	ネビラピン(NVP)	1998年11月～2008年11月
ザイアジエン錠	アバカビル硫酸塩(ABC)	1999年9月～2009年9月
ストックリン錠 200mg,600mg	エファビレンツ(EFV)	1999年9月～2009年9月
カレトラ配合錠・配合内用液	ロピナビル(LPV)・リトナビル(RTV)	2000年12月～2010年12月
エプソコム配合錠	ラミブジン(3TC)・アバカビル硫酸塩(ABC)	2004年12月～2010年12月
ジスロマック錠 600mg	アジスロマイシン	2001年12月～2011年12月

※2:デノシンカプセル・ノービアソフトカプセルは現在、販売されておりません。

# 調査対象全症例における治療開始後のCD4数及びHIV-RNAコピー数の推移

## 治療開始後のCD4数の推移<sup>†</sup>

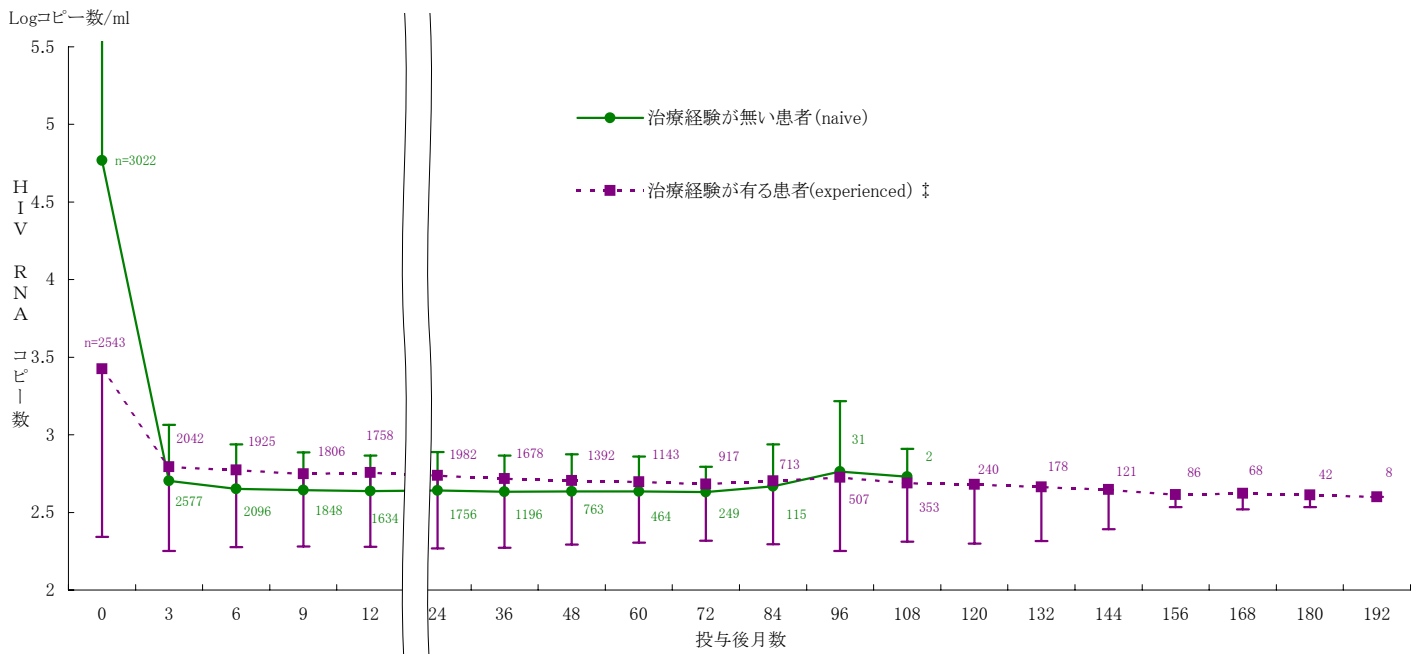
(調査期間: 調査開始から2013年3月) (n=5892)



<sup>†</sup> 治療開始時を含め2点以上測定された症例にて使用されたデータを採用した。  
<sup>‡</sup> 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

## 治療開始後のHIV-RNAコピー数の推移<sup>†</sup>

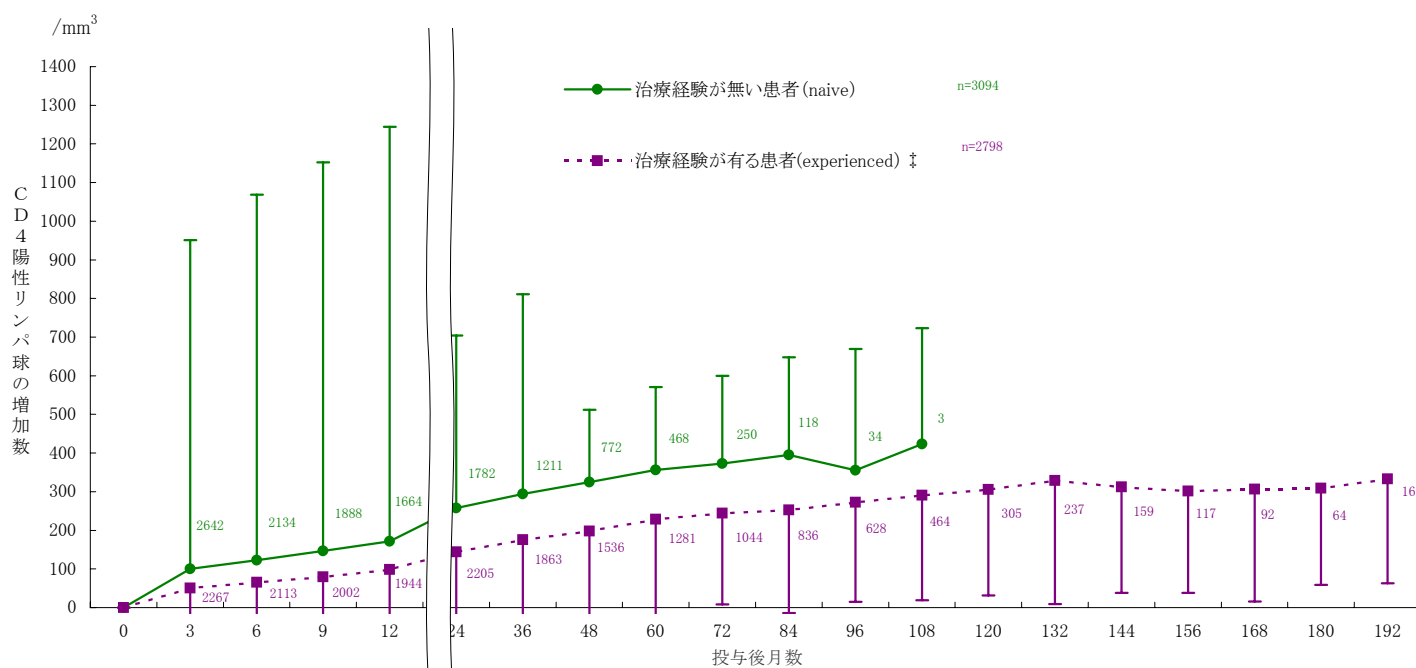
(調査期間: 調査開始から2013年3月) (n=5565)



<sup>†</sup> HIV-RNAコピー数の400未満については便宜上一律399として作表した。  
 HIV-RNAコピー数のMean±S.D.は、対数変換後算出を行った。  
 治療開始時を含め2点以上測定された症例にて使用されたデータを採用した。  
<sup>‡</sup> 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。



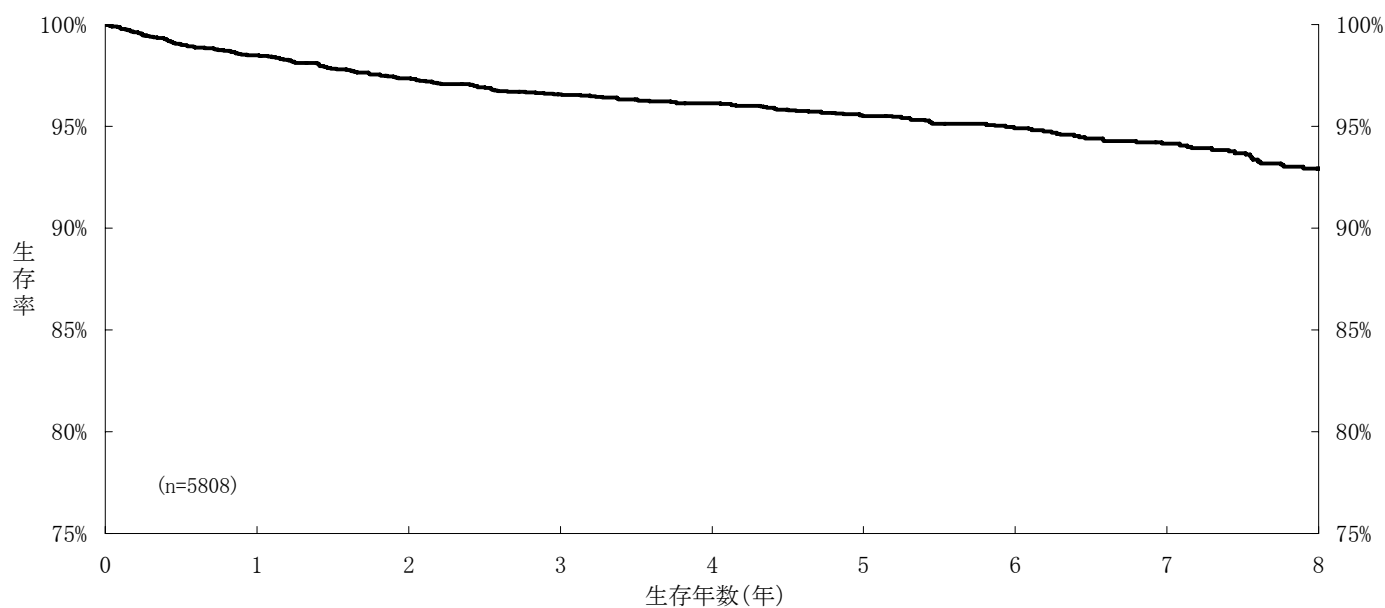
治療開始後のCD4増加数の推移<sup>†</sup>  
 (調査期間: 調査開始から2013年3月) (n=5892)



CD4数については治療開始時(投与後0ヶ月)を0とし、その後の差分を表した。  
<sup>†</sup> 治療開始時を含め2点以上測定された症例にて使用されたデータを採用した。  
<sup>‡</sup> 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

# 調査対象全症例における生存率

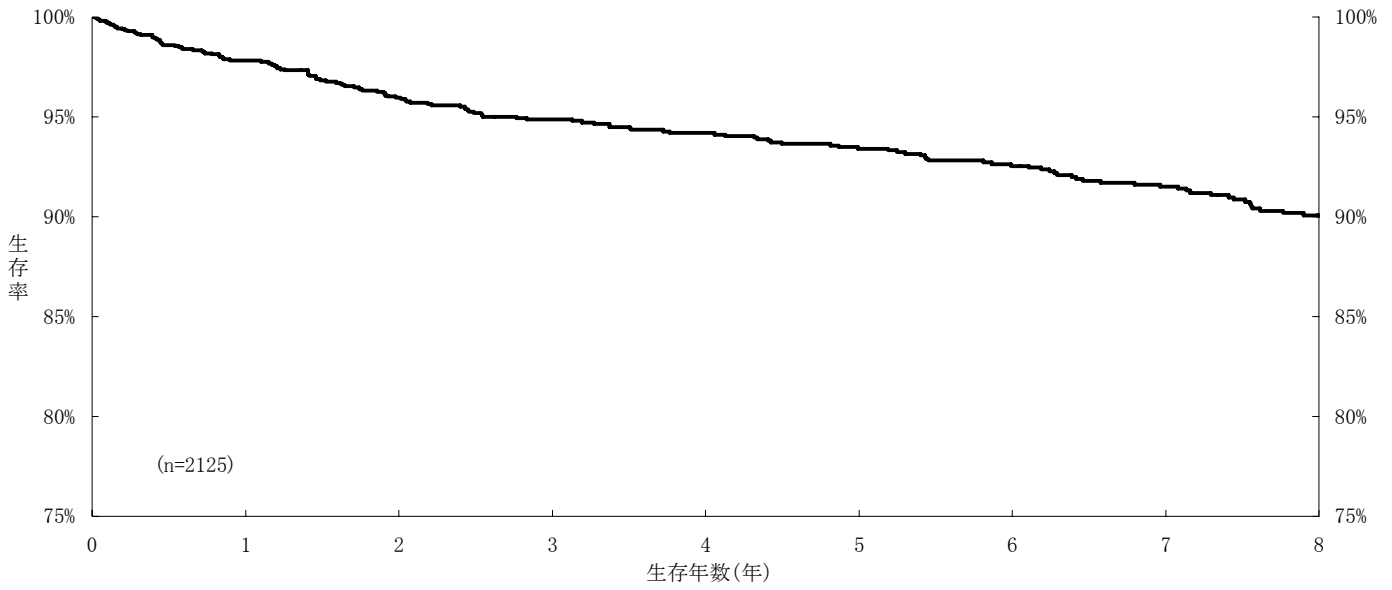
HRD共同調査生存率  
全症例のカプランマイヤー法による生存率  
(調査開始から2013年3月)



生存年数	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)
生存者数	5808	5064	4368	3499	2824	2221	1748	1341	994	732	480	358	246	179	133	80	19

9年以降は生存者数のみの表記とした.

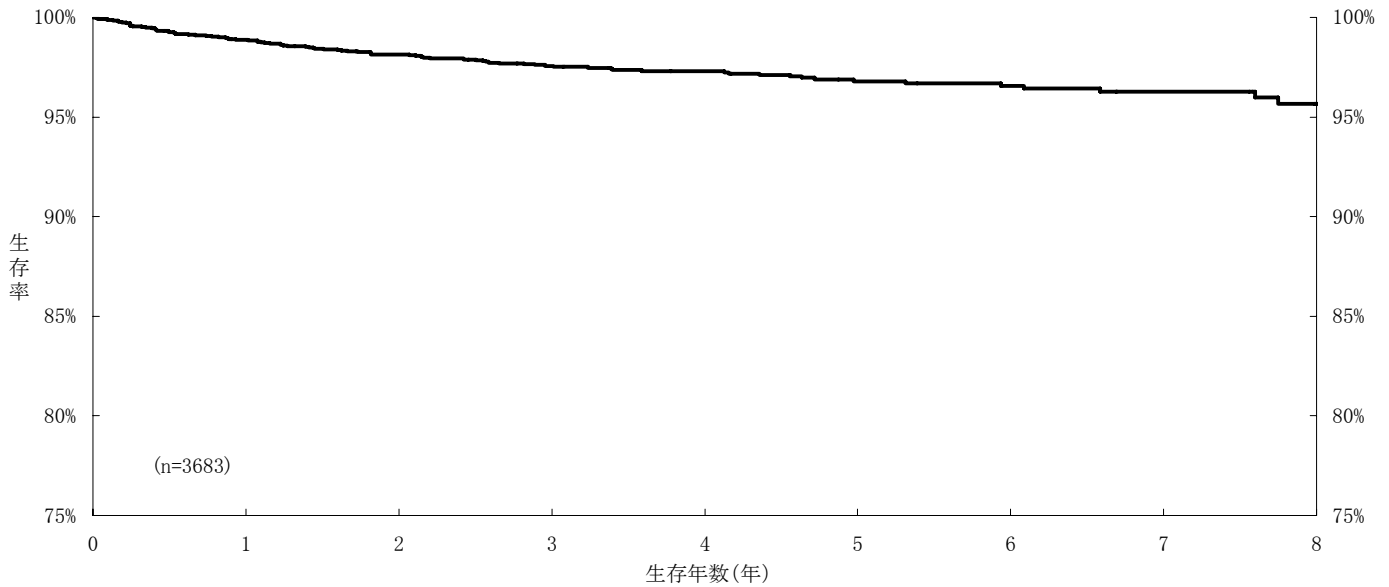
HRD共同調査生存率  
 カプランマイヤー法による生存率  
 (2001年3月31日以前に治療開始した症例)



生存年数	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)
生存者数	2125	1832	1590	1331	1219	1145	1032	897	732	562	392	330	246	179	133	80	19

9年以降は生存者数のみの表記とした。

HRD共同調査生存率  
 カプランマイヤー法による生存率  
 (2001年4月1日以降に治療開始した症例)

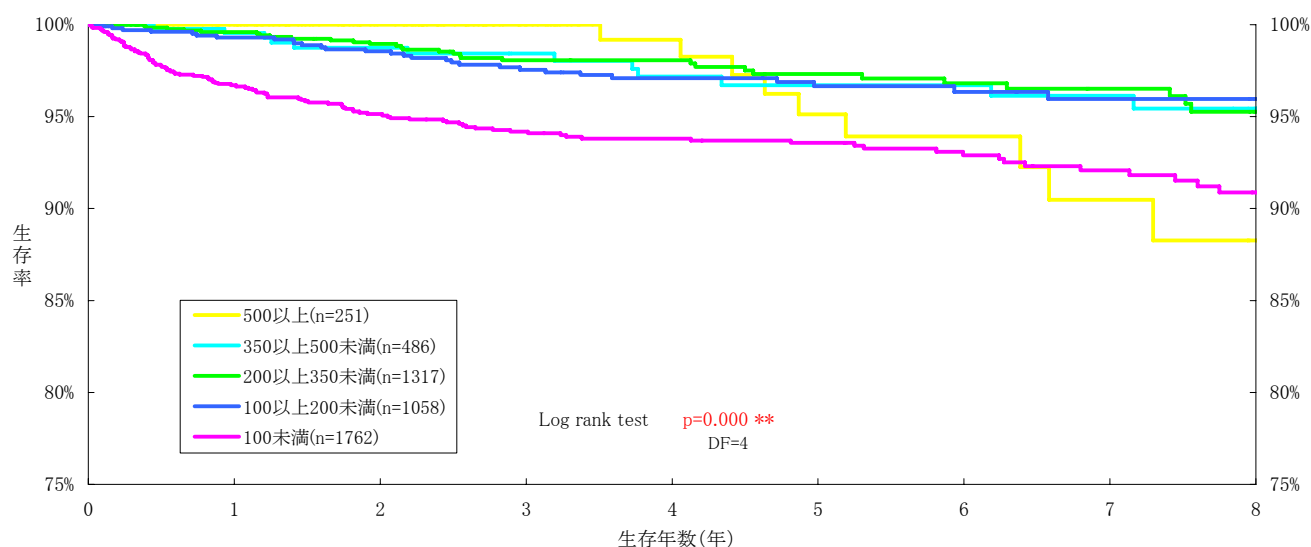


生存年数	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)
生存者数	3683	3232	2778	2168	1605	1076	716	444	262	170	88	28

9年以降は生存者数のみの表記とした。

## 調査対象全症例における治療開始時のCD4数別生存率(全死亡)

HRD共同調査生存率  
治療開始時CD4数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率  
(調査期間:調査開始から2013年3月)



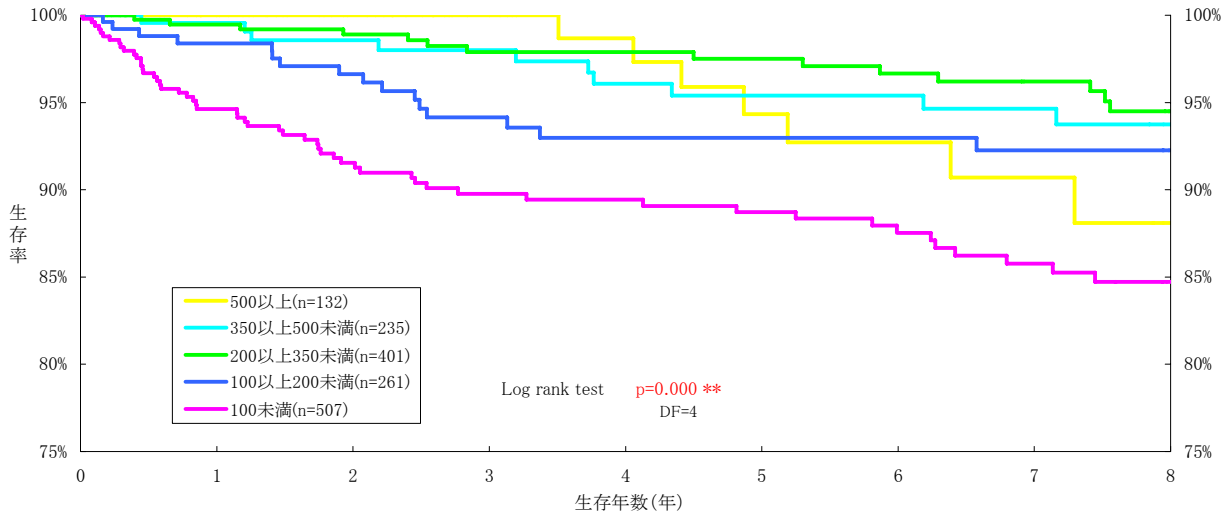
治療開始時のCD4数が不明の症例は除外した。  
本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や治療内容(2剤以下の抗HIV療法構成比など)による影響は考慮していない。  
治療開始時のCD4数350前後において群間に有意な差を認めなくなっているが、観察期間後期では、打ち切り(転院等による追跡不能例、生存しているが調査終了により追跡ができない例など)により各群の症例数が少なくなったこと等が要因として考えられる。

治療開始時CD4数	Log rank test
500未満 vs 500以上	p=0.953
350未満 vs 350以上	p=0.159
200未満 vs 200以上	p=0.000 **
100未満 vs 100以上	p=0.000 **

CD4数別の生存者数	生存年数	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)
	<100	1762	1489	1292	1065	871	670	499	364	249	168	119	81	50	34	24	16	2
<200	1058	961	861	706	562	415	306	221	158	119	78	60	38	30	23	16	5	
<350	1317	1156	987	752	575	443	360	267	192	147	90	66	52	42	30	19	4	
<500	486	409	326	250	216	191	171	141	117	75	55	40	27	18	15	6	0	
500≤	251	216	178	136	109	82	63	43	33	22	14	10	5	5	4	3	1	

9年以降は生存者数のみの表記とした。

HRD共同調査生存率  
治療開始時CD4数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率  
(2001年3月31日以前に治療開始した症例)



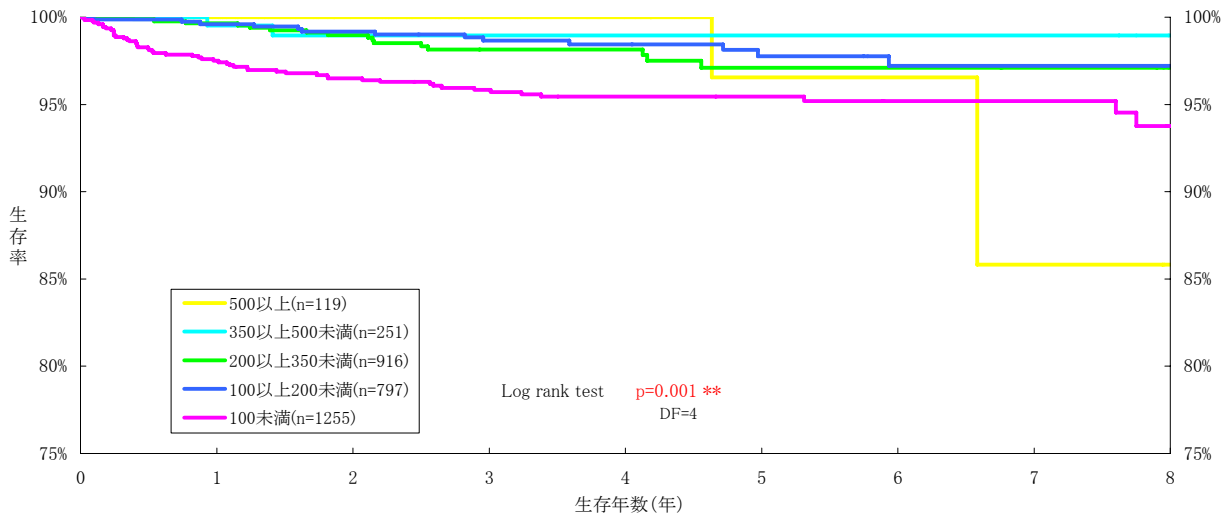
治療開始時のCD4数が不明の症例は除外した。  
本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や治療内容(2剤以下の抗HIV療法)の構成比などによる影響は考慮していない。  
治療開始時のCD4数350前後において群間に有意な差を認めなくなっているが、観察期間後期では、打ち切り(転院等による追跡不能例、生存しているが調査終了により追跡ができない例など)により各群の症例数が少なくなったこと等が要因として考えられる。

治療開始時CD4数	Log rank test
500未満 vs 500以上	p=0.658
350未満 vs 350以上	p=0.077
200未満 vs 200以上	p=0.000 **
100未満 vs 100以上	p=0.000 **

CD4数別の生存者数	生存年数	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)
	<100	507	395	330	276	257	247	211	175	143	102	80	67	50	34	24	16	2
<200	261	235	206	168	156	144	134	125	100	83	62	55	38	30	23	16	5	
<350	401	362	324	276	254	240	223	189	146	113	76	64	52	42	30	19	4	
<500	235	208	177	153	146	138	128	109	93	62	48	40	27	18	15	6	0	
500≦	132	112	97	81	72	60	52	37	29	19	12	9	5	5	4	3	1	

9年以降は生存者数のみの表記とした。

HRD共同調査生存率  
治療開始時CD4数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率  
(2001年4月1日以降に治療開始した症例)



治療開始時のCD4数が不明の症例は除外した。  
本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や治療内容(2剤以下の抗HIV療法)の構成比などによる影響は考慮していない。  
治療開始時のCD4数350前後において群間に有意な差を認めなくなっているが、観察期間後期では、打ち切り(転院等による追跡不能例、生存しているが調査終了により追跡ができない例など)により各群の症例数が少なくなったこと等が要因として考えられる。

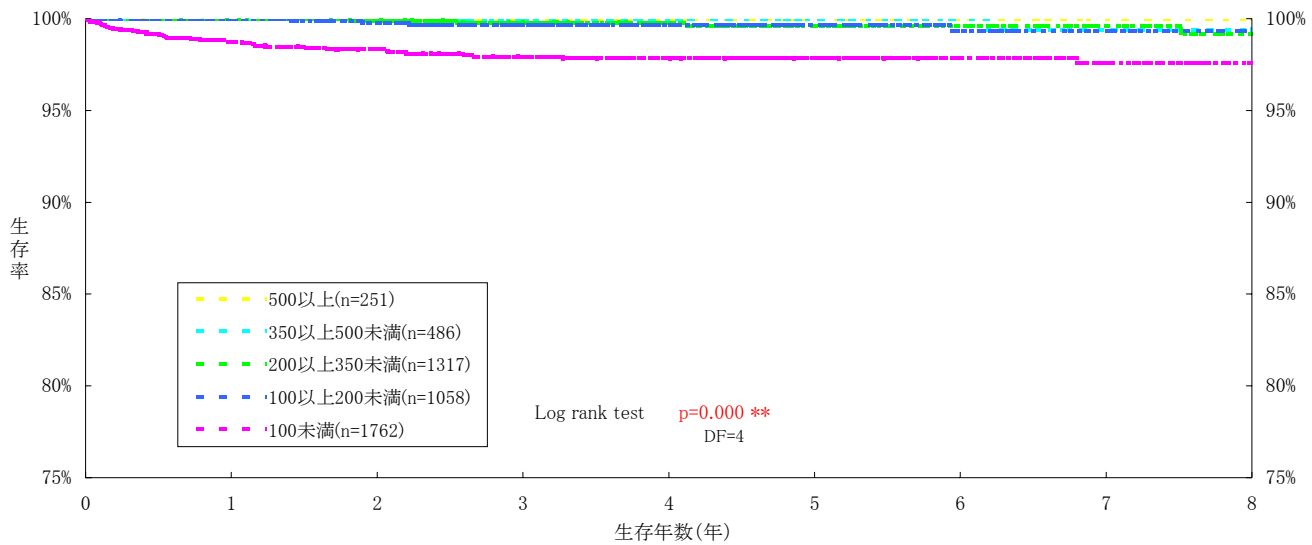
治療開始時CD4数	Log rank test
500未満 vs 500以上	p=0.637
350未満 vs 350以上	p=0.110
200未満 vs 200以上	p=0.016 *
100未満 vs 100以上	p=0.000 **

CD4数別の生存者数	生存年数	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)
	<100	1255	1094	962	789	614	423	288	189	106	66	39	14
<200	797	726	655	538	406	271	172	96	58	36	16	5	
<350	916	794	663	476	321	203	137	78	46	34	14	2	
<500	251	201	149	97	70	53	43	32	24	13	7	0	
500≦	119	104	81	55	37	22	11	6	4	3	2	1	

9年以降は生存者数のみの表記とした。

調査対象全症例における治療開始時のCD4数別生存率(AIDS指標疾患による死亡)

HRD共同調査生存率  
 治療開始時CD4数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率  
 (調査期間:調査開始から2013年3月)



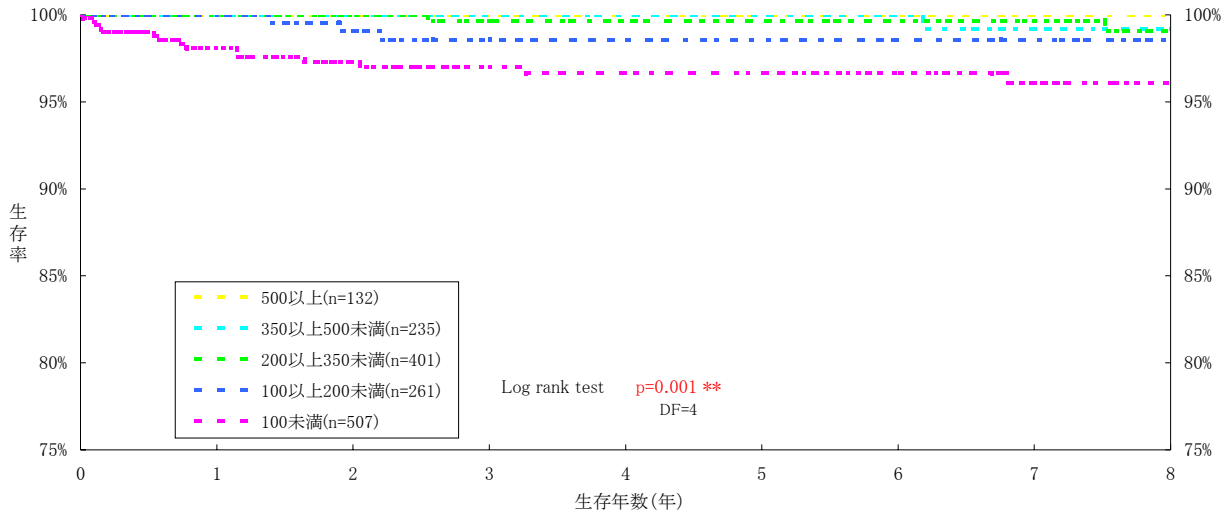
治療開始時のCD4数が不明の症例は除外した。  
 本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や  
 治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。

治療開始時CD4数	Log rank test
500未満 vs 500以上	p=0.134
350未満 vs 350以上	p=0.021 *
200未満 vs 200以上	p=0.000 **
100未満 vs 100以上	p=0.000 **

	生存年数	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)
CD4数別の 生存者数	<100	1762	1489	1292	1065	871	670	499	364	249	168	119	81	50	34	24	16	2
	<200	1058	961	861	706	562	415	306	221	158	119	78	60	38	30	23	16	5
	<350	1317	1156	987	752	575	443	360	267	192	147	90	66	52	42	30	19	4
	<500	486	409	326	250	216	191	171	141	117	75	55	40	27	18	15	6	0
	500≤	251	216	178	136	109	82	63	43	33	22	14	10	5	5	4	3	1

9年以降は生存者数のみの表記とした。

HRD共同調査生存率  
 治療開始時CD4数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率  
 (2001年3月31日以前に治療開始した症例)



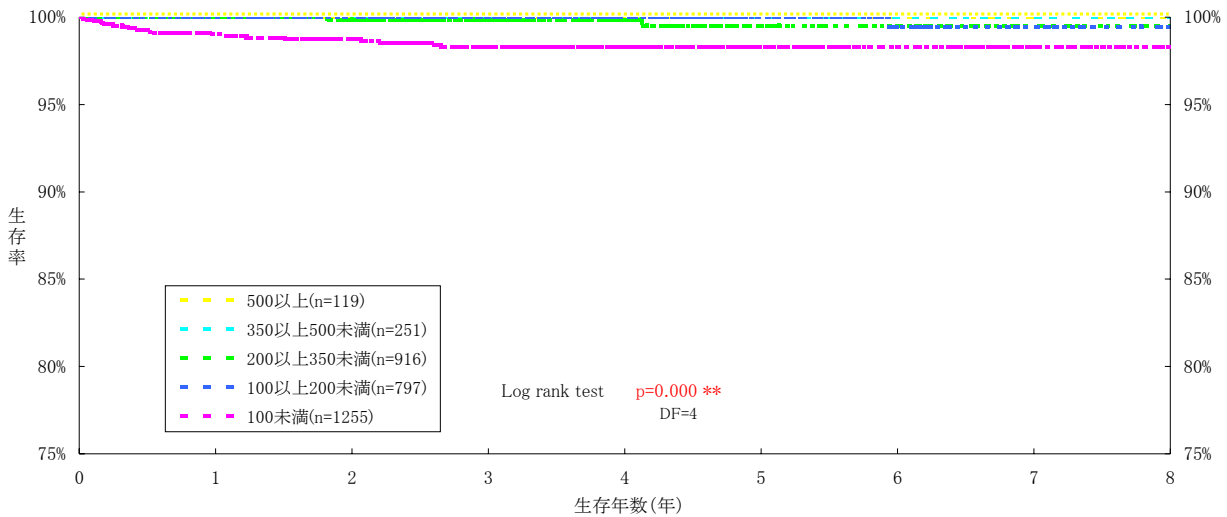
治療開始時のCD4数が不明の症例は除外した。  
 本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や  
 治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。

治療開始時CD4数	Log rank test
500未満 vs 500以上	p=0.170
350未満 vs 350以上	p=0.038 *
200未満 vs 200以上	p=0.001 **
100未満 vs 100以上	p=0.000 **

CD4数別の生存者数	生存年数	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)
	<100	507	395	330	276	257	247	211	175	143	102	80	67	50	34	24	16	2
<200	261	235	206	168	156	144	134	125	100	83	62	55	38	30	23	16	5	
<350	401	362	324	276	254	240	223	189	146	113	76	64	52	42	30	19	4	
<500	235	208	177	153	146	138	128	109	93	62	48	40	27	18	15	6	0	
500≦	132	112	97	81	72	60	52	37	29	19	12	9	5	5	4	3	1	

9年以降は生存者数のみの表記とした。

HRD共同調査生存率  
 治療開始時CD4数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率  
 (2001年4月1日以降に治療開始した症例)



治療開始時のCD4数が不明の症例は除外した。  
 本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や  
 治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。

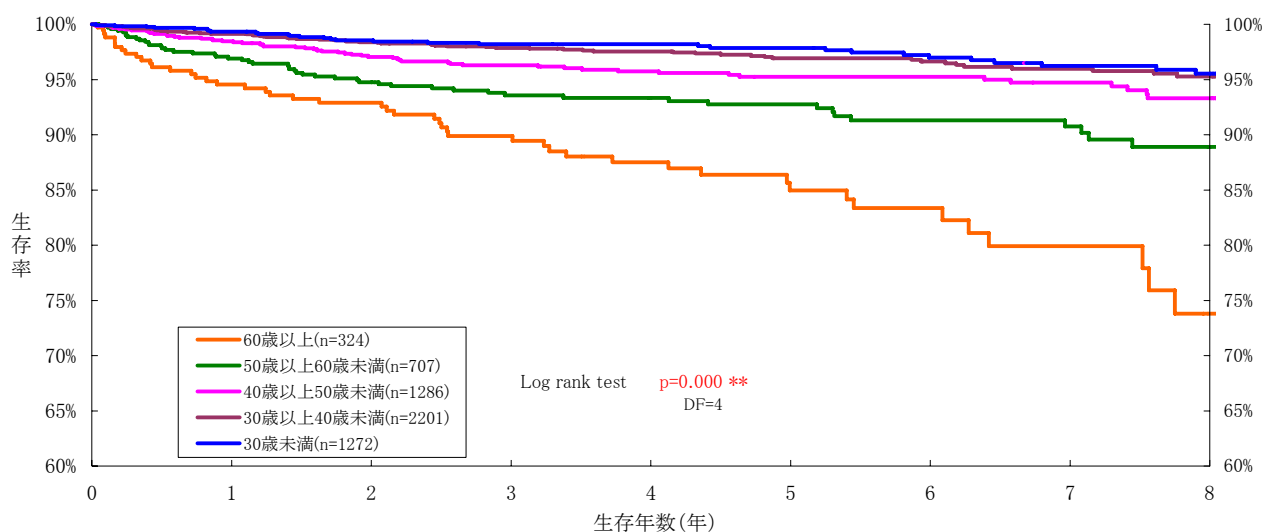
治療開始時CD4数	Log rank test
500未満 vs 500以上	p=0.386
350未満 vs 350以上	p=0.118
200未満 vs 200以上	p=0.008 **
100未満 vs 100以上	p=0.000 **

CD4数別の生存者数	生存年数	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)
	<100	1255	1094	962	789	614	423	288	189	106	66	39	14
<200	797	726	655	538	406	271	172	96	58	36	16	5	
<350	916	794	663	476	321	203	137	78	46	34	14	2	
<500	251	201	149	97	70	53	43	32	24	13	7	0	
500≦	119	104	81	55	37	22	11	6	4	3	2	1	

9年以降は生存者数のみの表記とした。

## 調査対象全症例における治療開始時の年齢別生存率

HRD共同調査生存率  
治療開始時年齢で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率  
(調査期間: 調査開始から2013年3月)



本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。

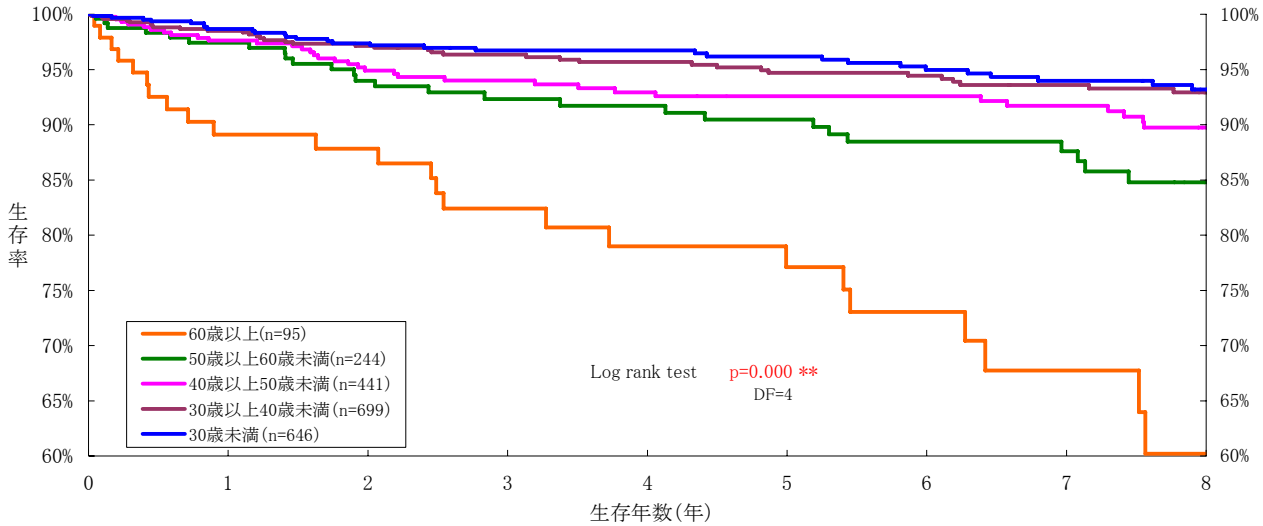
治療開始時年齢	Log rank test
60歳未満 vs 60歳以上	$p=0.000^{**}$
50歳未満 vs 50歳以上	$p=0.000^{**}$
40歳未満 vs 40歳以上	$p=0.000^{**}$
30歳未満 vs 30歳以上	$p=0.000^{**}$

年齢別の生存者数	生存年数	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)
	<30	1272	1095	937	748	618	509	419	341	271	207	137	106	74	61	51	36	8
<40	2201	1926	1661	1348	1073	826	640	485	346	246	167	130	97	72	51	27	8	
<50	1286	1133	969	776	626	496	402	303	235	174	113	78	47	29	19	12	1	
<60	707	614	541	421	347	270	209	162	110	80	51	36	26	15	10	3	2	
60 ≤	342	296	260	206	160	120	78	50	32	24	12	8	2	2	2	2	0	

9年以降は生存者数のみの表記とした。



HRD共同調査生存率  
 治療開始時年齢で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率  
 (2001年3月31日以前に治療開始した症例)



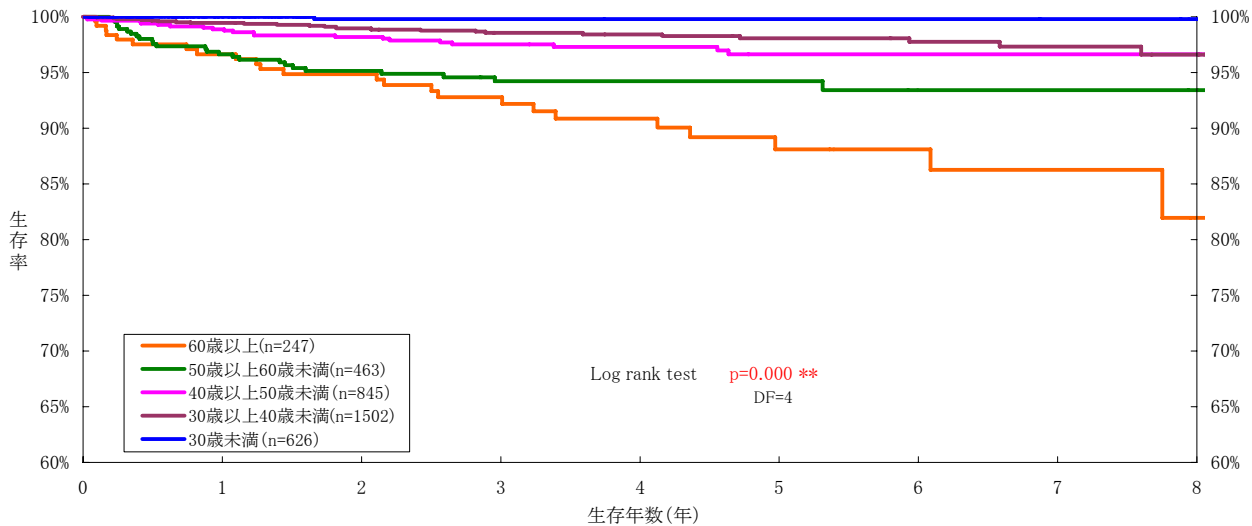
本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。

治療開始時年齢	Log rank test
60歳未満 vs 60歳以上	p=0.000 **
50歳未満 vs 50歳以上	p=0.000 **
40歳未満 vs 40歳以上	p=0.000 **
30歳未満 vs 30歳以上	p=0.005 **

年齢別の生存者数	生存年数	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)
	<30	646	562	489	404	361	332	303	272	229	176	120	99	74	61	51	36	8
<40	699	601	522	445	407	381	347	303	246	189	140	120	97	72	51	27	8	
<50	441	386	331	277	252	230	200	166	126	83	70	47	29	19	12	1		
<60	244	207	181	153	148	139	123	100	75	57	41	34	26	15	10	3	2	
60 ≤	95	76	67	52	44	41	29	22	16	13	8	7	2	2	2	2	0	

9年以降は生存者数のみの表記とした。

HRD共同調査生存率  
 治療開始時年齢で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率  
 (2001年4月1日以降に治療開始した症例)



本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。

治療開始時年齢	Log rank test
60歳未満 vs 60歳以上	p=0.000 **
50歳未満 vs 50歳以上	p=0.000 **
40歳未満 vs 40歳以上	p=0.000 **
30歳未満 vs 30歳以上	p=0.000 **

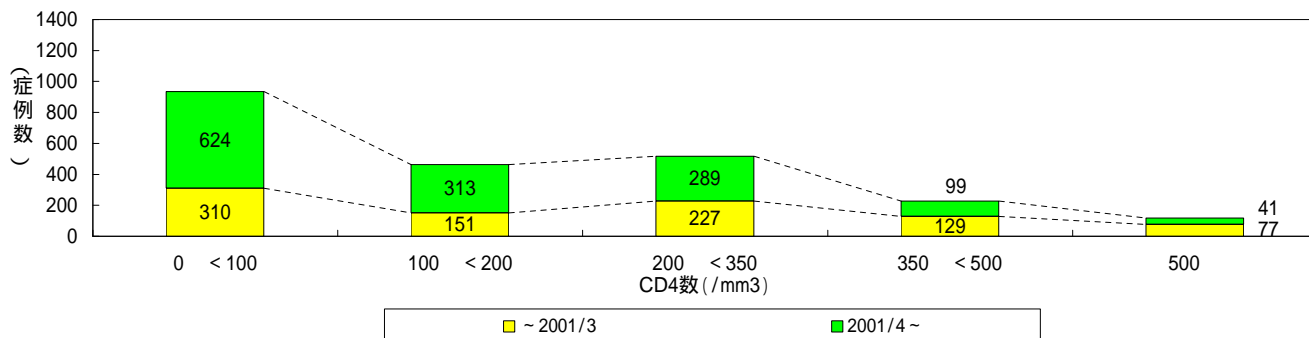
年齢別の生存者数	生存年数	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)
	<30	626	533	448	344	257	177	116	69	42	31	17	7
<40	1502	1325	1139	903	666	445	293	182	100	57	27	10	
<50	845	747	638	499	367	244	172	103	69	48	30	8	
<60	463	407	360	268	199	131	86	62	35	23	10	2	
60 ≤	247	220	193	154	116	79	49	28	16	11	4	1	

9年以降は生存者数のみの表記とした。

## 調査対象全症例における治療経験有無別の治療開始時のCD4数及びHIV-RNAコピー数

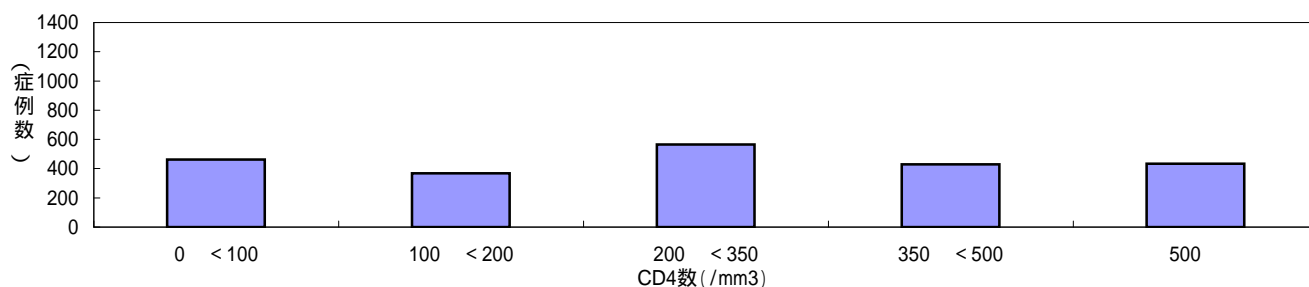
### 治療経験が無い患者 (naive患者) への治療開始時のCD4数

(調査期間: 調査開始から2013年3月) (n=2260)



### 併用療法薬剤変更時のCD4数

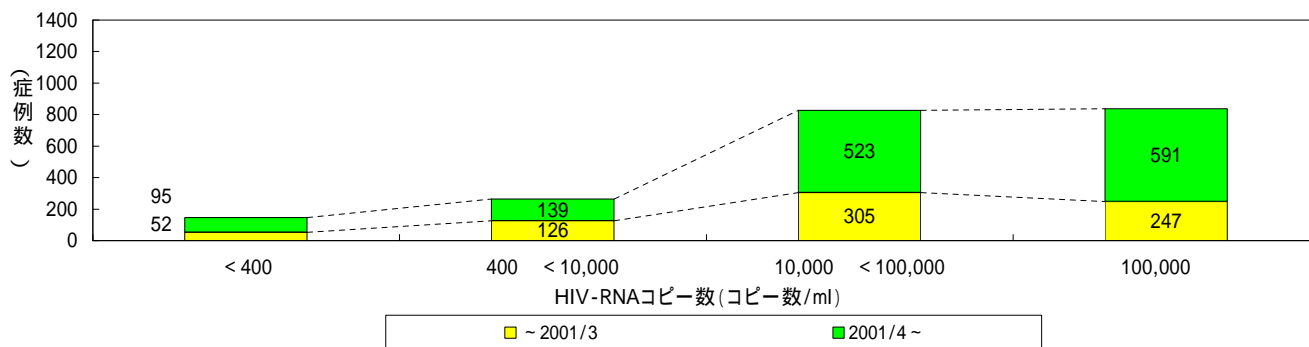
(調査期間: 調査開始から2013年3月) (n=2260)



治療マーカーの数値は必ずしも現在の推奨治療域と一致しているわけではありません。  
 治療開始にあたっては、最新ガイドライン等を参照、若しくは専門医にご相談ください。  
 CD4数100未満で治療されている患者については、エイズ発症後に来院し治療を開始している等の要因が考えられた。  
 治療開始前の測定結果がある治療経験が無い患者で治療開始後薬剤の変更経験がある症例を採用した。  
 併用療法薬剤変更時のCD4数は、治療経験が無い患者への初回処方直後の変更処方区間のみのデータを採用した。

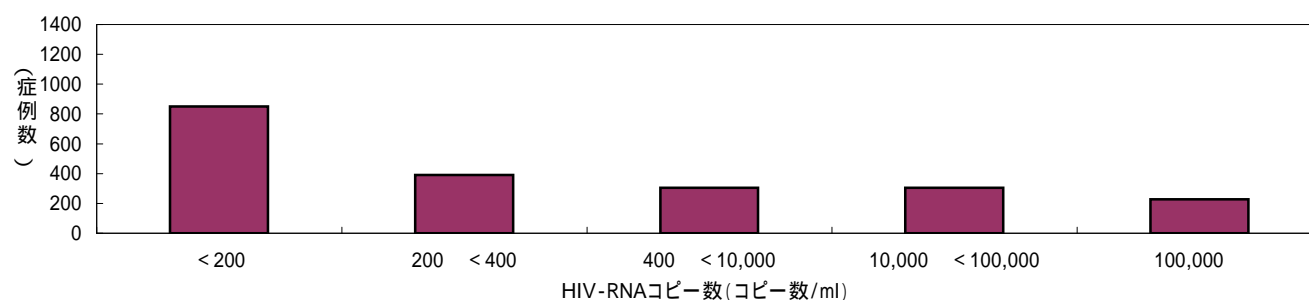
### 治療経験が無い患者 (naive患者) への治療開始時のHIV-RNAコピー数

(調査期間: 調査開始から2013年3月) (n=2078)



### 併用療法薬剤変更時のHIV-RNAコピー数

(調査期間: 調査開始から2013年3月) (n=2078)

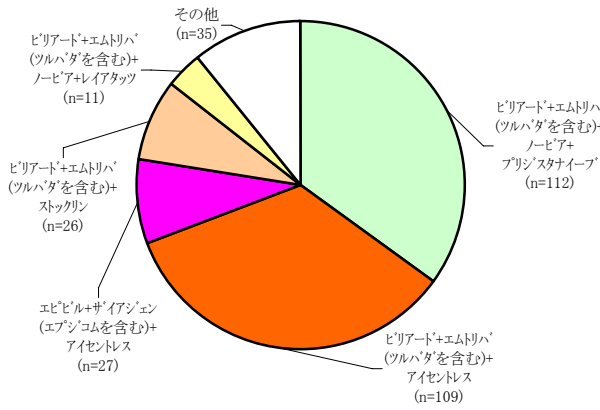


治療マーカーの数値は必ずしも現在の推奨治療域と一致しているわけではありません。  
 治療開始にあたっては、最新ガイドライン等を参照、若しくは専門医にご相談ください。  
 治療開始前の測定結果がある治療経験が無い患者で治療開始後薬剤の変更経験がある症例を採用した。  
 併用療法薬剤変更時のHIV-RNAコピー数は、治療経験が無い患者への初回処方直後の変更処方区間のみのデータを採用した。

2010年度(2010年4月から2011年3月まで)から2012年度(2012年4月から2013年3月まで)に使用された調査対象症例における併用療法の種類(薬剤組合せ)

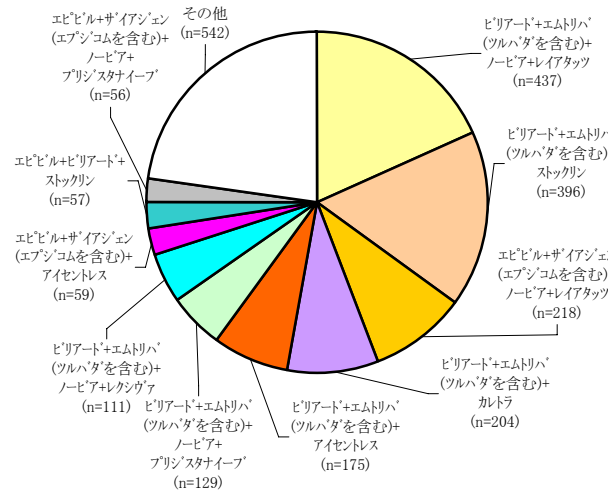
2010年度に治療開始した患者(治療経験が無い患者: naive患者)

への併用療法薬剤組合せトップ5  
(n=320)



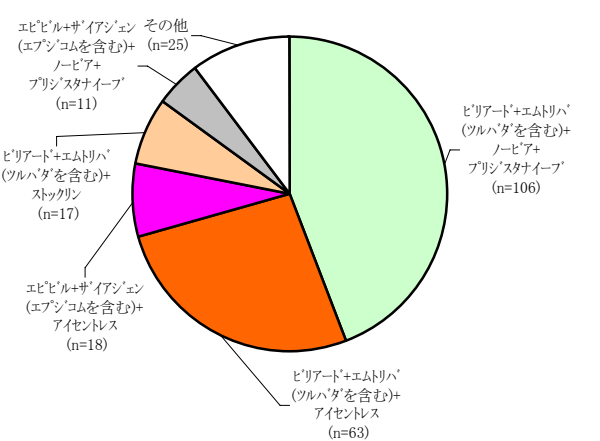
2010年度併用療法の薬剤変更後に使用された併用療法

薬剤組合せトップ10\*  
(累積n=2384)



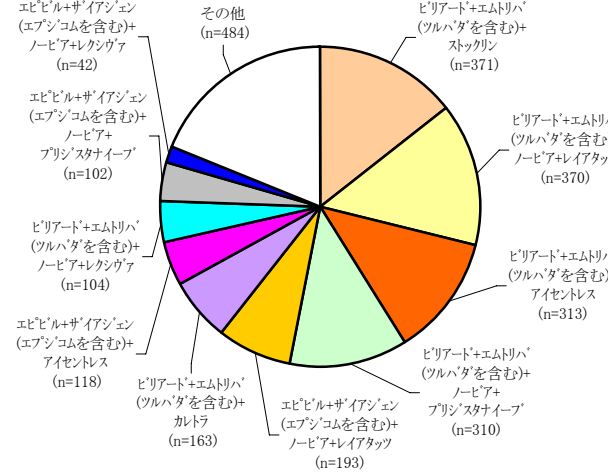
2011年度に治療開始した患者(治療経験が無い患者: naive患者)

への併用療法薬剤組合せトップ5  
(n=240)



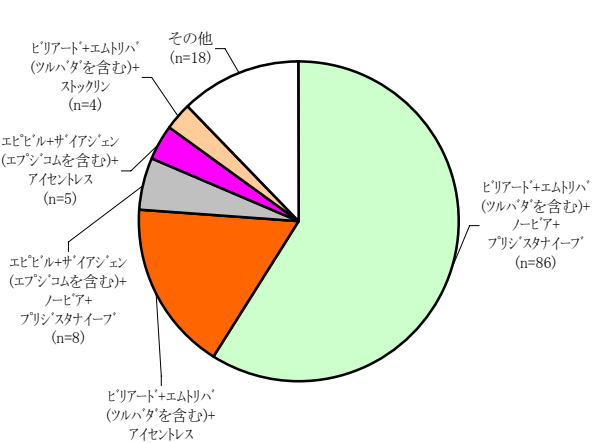
2011年度併用療法の薬剤変更後に使用された併用療法

薬剤組合せトップ10\*  
(累積n=2570)



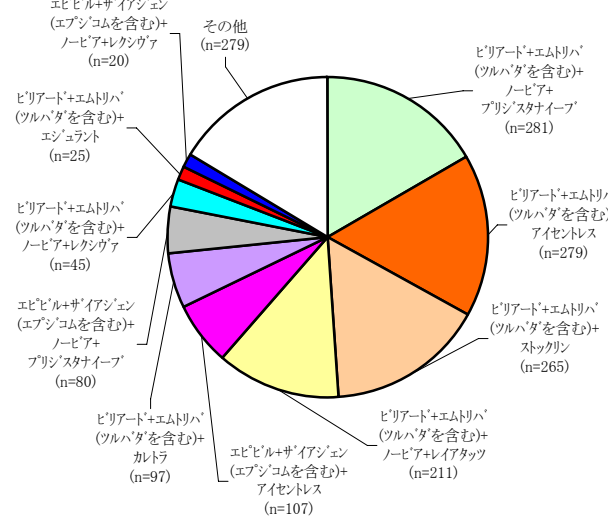
2012年度に治療開始した患者(治療経験が無い患者: naive患者)

への併用療法薬剤組合せトップ5  
(n=146)



2012年度併用療法の薬剤変更後に使用された併用療法

薬剤組合せトップ10\*  
(累積n=1689)



※必ずしも現在の治療ガイドライン等で推奨される併用療法薬剤組合せと一致してはおりません。治療開始にあたっては、最新のガイドライン等を参照、若しくは専門医にご相談ください。

○ 本調査結果は、本邦におけるエイズ診療の中核となる医療機関での2010年度から2012年度までの調査対象症例における多剤併用療法の使用実態抜粋である。

\* 併用された薬剤1剤でも変更されれば「変更」とカウントし、年度内に2度、3度変更されれば、重複カウントした。

HRD 共同調査協議会のホームページ

<http://www.hrd.gr.jp/>